



長崎大学病院広報誌



ポンペ Pompe

2014.11
Vol. 78・79

ポンペとは、日本最初の近代洋式病院である養生所(長崎大学病院の前身)を創設したポンペ・ファン・メルデルフォールトから採っています。



外科手術ロボット「ダヴィンチ」本体

④ 特集 体に優しい外科手術ロボット 「ダヴィンチ」導入

CONTENTS

p2 病院長就任あいさつ

p4 体に優しい外科手術ロボット
「ダヴィンチ」導入

p6 長崎大学病院 安全医療宣言!◎
ミニバス「元気くん」バス停変更のお知らせ

p7 医療最前線(産科婦人科)

p8 外来診療日一覧 ほか

【発行】

長崎大学病院 広報委員会

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

TEL/095-819-7200

FAX/095-819-7215



一人ひとりの 患者さんを大切に！ これこそが私たちの 最大の使命です

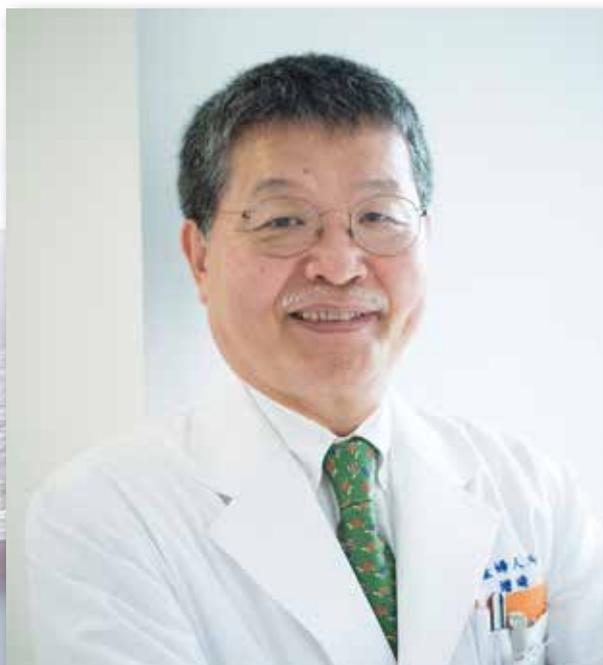
長 崎は江戸時代、日本で唯一、西洋に向かって開かれていました。オランダ人たちは出島に住んで、異国の文化を運んできました。長崎は、当時、学問を志す人々のあこがれの地であり、多くの人が最新の知識を求めて長崎を訪れました。長崎大学病院の始まりである養生所は、そういう時代に、徳川幕府に招かれてオランダから来日したポンペ・ファン・メールデルフォールトによって開かれました。

1861年のことですから、2011年には、長崎大学病院は開院150周年を迎えました。この日本で最も古い歴史をもつ病院で診療に従事できることを、私はいつも誇りに思っています。

長崎大学病院は、今や800名の医師、839名の看護師、246名の事務員など、総勢2,691名の職員が医療に携わる巨大病院です。そして県下唯一の大学病院として、当院には果たさなければならない使命があります。それは長崎県の医療の中心となり、長崎県の医療の発展、向上に寄与するということです。

具体的には、医療に関する質的および量的貢献があるでしょう。以下に少し詳しく説明します。

第1は医療の質に関する貢献です。長崎は、地理的には日本の最西に位置しますが、全国のどこにも劣らない医療をこの地で受けられる病院であらねばなりません。当たり前のことのように、日進月歩の



病院長

増崎 英明

昭和52年3月 長崎大学医学部卒業
平成18年8月 長崎大学医学部産婦人科教授
平成26年10月 国立大学法人長崎大学理事(病院担当)・病院長
専門は超音波診断、周産期遺伝。

長崎大学病院の基本理念と基本方針

基本理念

長崎大学病院は、最高水準の医療を提供するとともに、人間性ゆたかな優れた医療人を育成し、新しい医療の創造と発展に貢献する。

基本方針

- ◎患者と医療従事者との信頼関係を築き、人間性を重視した医療を実践する。
- ◎働きやすく、やりがいの持てる職場づくりを推進する。
- ◎世界水準の医療と研究開発を推進する。
- ◎倫理性と科学性に基づいた医学・歯学教育を実践する。
- ◎離島及び地域医療体制の充実に貢献する。
- ◎医療の国際協力を推進する。

医療の世界では、一人ひとりの日々の研鑽なしには実現できないことです。

長崎大学病院は、医療に携わるすべての人のスキルアップを応援します。また、長崎のがん診療連携拠点病院として、手術、放射線、抗がん剤などトータルながん診療を提供することや、三次救急病院として救急医療の最後の砦としての役割を果たすことも、大学病院であればこそ全うすることのできる大切な使命です。今年にはダヴィンチを導入し、ロボット手術も行われるようになりました。さらに長崎大学病院は多くの研究事業を行っています。たとえば、話題の感染症であるエボラ出血熱のアフリカにおける大流行に関しても、感染症研究では長崎大学がトップクラスにあり、WHOにも医師を派遣しています。その他にも再生・移植医療や遺伝子研究、さらに周産期領域では、ATL母子感染防止について、長崎が他に先駆けてモデル事業になるなど、全国から注目される研究を多数行っています。



エボラ出血熱患者に対処するための着脱訓練

第2は医療の量に関する貢献です。大学病院の使命の一つに長崎の医療人を育てることがあります。一時期、大学医局の不要論が謳われ、地方の大学医学部を卒業した学生の大半が地元ではなく大都市で就職するという事態が発生しました。このことは地方での医師不足を招来し、通院に車で1時間以上かかるような医療過疎地域を各地につくる原因にもなりました。長崎県は離島を多く抱え、また地形的にも山が多く移動に時間がかかります。

このため、それぞれの地域の拠点病院の役割は他県に比べてさらに重要です。長崎県下の拠点病院に十分な人材を派遣することは大学病院の大切な役割の一つです。優秀な人材を育成すること、またそれらの医療に携わる人々が日々充実して働ける職場環境を提供することは大学病院の使命と言えるでしょう。

昨今、安倍内閣が「女性の活躍できる社会」をスローガンにあげていますが、長崎大学病院ではワークライフバランスにも力を注ぎ、職場復帰支援にも長く取り組んでいます。医療従事者は女性の占める比率が高く、女性は男性と同じように貴重な戦力です。少子化問題が深刻な日本では、女性の出産・育児は重視すべき課題です。長崎大学病院は、いったん職場を離れた女性が復帰したくなる職場でありたいと願っています。そして女性が復帰したいと思える職場ならば、それは男性にとっても必ずや、やりがいのある職場であると考えています。



育児・介護等で休職・離職中の医師のための復職トレーニング

最後に、これまで長崎の医療を支える、という俯瞰的な視点から大学病院の役割を述べてきましたが、医療とは結局は患者さんと医療者の、人と人の関係が基本であると私は考えています。ありふれた言葉ですが、一人ひとりの患者さんを大切に！これこそが、大学病院の最も大切な使命であることを、私たちは忘れてはなりません。

体に優しい外科手術ロボット「ダヴィンチ」導入

科学技術の進歩によりロボット技術が高度先端医療に応用されるようになりました。最近欧米を中心に急速に普及している外科手術支援ロボット「ダヴィンチ」を本院でも今秋、県内ではじめて導入し、稼働しました。手術支援ロボットを利用した場合の特徴などについて紹介します。

「ダヴィンチ」とは？

ダヴィンチはアメリカの大手医療機器メーカーが開発した最新の内視鏡ロボット支援手術機器です。

ロボット本体には医師の手の代わりに果たす3本の操作用のアームと1本の内視鏡が装着されていて、術者である医師がケーブルでつながったサージョンコンソール(操作台)から3次元の画像を見ながら手元のコントローラーを使って患部を切除したり縫合したりします。

3本の操作用のアームと1本の内視鏡(中央部)が装着されているダヴィンチ



メリット ①

傷口が小さくて回復が早い

腹腔鏡手術と同様に、腹部の数力所から鉗子を挿入して手術を行うため傷口が小さく、術後の早い回復が期待できます。



360度自由に動く鉗子で細かな操作が可能に

メリット ②

機能温存が期待できる

腹腔鏡手術では鉗子の動きが制限され、画像も平面的なため術者の高い技量が必要とされています。ダヴィンチ手術では、360度自由に動く鉗子を用い、立体的な3D画像を見ながらさらに精密な手術ができ、結果として前立腺がん手術では排尿機能や性機能を温存することができやすくなります。

メリット ③

根治性の向上が期待できる

立体的な視野を確保することが可能になり、骨盤の深い部位を確認しながら患部を切除できるため、より根治性の高い手術が可能になります。



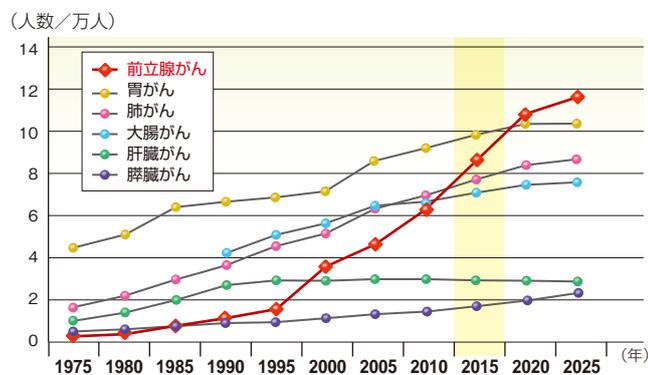
ケーブルでつながった操作台から3次元の立体的な画像を見ながら手元のコントローラーを使って患部を切除したり縫合したりする

保険適用は前立腺がん

Q 現在、保険適用になっている前立腺がんについて教えてください

前立腺がんは50代以上の男性に多い疾患です。食事の欧米化や高齢化の影響で2020年には男性のがん罹患率1位になると予想されています。

このように増え続けている前立腺がんですが、治療については手術療法、外照射放射線療法、小線源療法、ホルモン療法など患者さんに合わせた治療法が行われています。これまで本院泌尿器科では、早期がんの治療に腹腔鏡を使った手術を行ってきましたが、ダヴィンチの導入でさらに精密な手術が可能になります。このことは患者さんにとって大きなメリットにつながると思います。



グラフは表示年から5年間の年平均罹患数
(がん・統計白書2012、篠原出版新社より)

Q 9月末に1症例目の手術が終わりました。手術方法はどのように行いますか？

基本的には腹腔鏡手術と同じです。ただし、体の内部では精密な動きをするロボットですが、外のアームは大きく動きますので患者さんの側には器具の交換などを担当する医師がつき、ロボットの動きを常に観察しています。また、機器の受け渡しをする看護師、システムの立ち上げをする臨床工学技士などのスペシャリストを集めたダヴィンチチームで手術に臨んでいます。



泌尿器科
酒井 英樹 教授

ダヴィンチ手術は10例までは経験豊富な医師を他病院から招へいしたり、見学に行くことが学会などで提唱されています。また、手術を執刀する医師は、特定の資格が必要です。現在この資格を保有している医師は本院に2名います。

12月からは本院の医師のみで手術を行う予定ですが、現在資格保有者の増員も進めており、来年2月には4名体制としてダヴィンチ手術を希望される患者さんの期待に応えたいと思っています。

Q 入院期間や費用について教えてください

手術時間で3~5時間程度、入院期間も2週間程度で、腹腔鏡手術とあまり変わりません。

費用についてですが、前立腺がんについてダヴィンチの手術は保険適用が認められており、高額療養費の適用で腹腔鏡手術と変わらない額になります。現時点で保険適用になっているのは前立腺がんだけです。

現在、本院では年間60例ほどの前立腺がんの手術をほぼ全例腹腔鏡手術で行っています。

今後は痛みが少なく精密な手術ができるロボット手術に移行していく予定です。

Q 今後の広がりとは？

現在は、前立腺がんだけが保険適用ですが、今後は消化器外科や産科婦人科の領域に応用されていく可能性が高いと思います。婦人科疾患では子宮がんが対象になってくると思われませんが、前立腺がん同様骨盤の深いところでの手術にこのロボット支援手術の利点が活かされると思います。

また、他の領域でもこのダヴィンチの応用が検討されていて、細かな難しい手術を可能にすることが期待されています。



私たちは、常にスキルアップを欠かしません

私たちは、すべての医療行為や医療に関わる行動について、昨日よりも少しでも進歩するために、スキルアップのための研修や講習に積極的に参加しています。一步一步向上するスキルを確認してください。



ミニバス「元気くん」バス停変更のお知らせ

平成26年9月22日より、**平日の以下の時間帯**において、バス停を「**大学病院玄関前**」から「**大学病院前**」に変更します。ご迷惑をおかけしますが、移動にはゆとりを持っていただきますようお願いいたします。

住吉方面行き

9:37、10:57 ⇒ ①のバス停に停車します。

ココウォーク茂里町行き

11:03 ⇒ ②のバス停に停車します。

① 大学病院前
(住吉方面行)

9:37、10:57便の
乗車はこちら



② 大学病院前
(ココウォーク茂里町行)

11:03便の乗車はこちら

大学病院玄関前

9:37、10:57、11:03便は、
このバス停に止まりません。

医療最前線

産科婦人科



准教授 金内 優典 教授 増崎 英明

浸潤子宮頸癌に対する究極の子宮温存手術 “広汎性子宮頸部摘出術”とは!

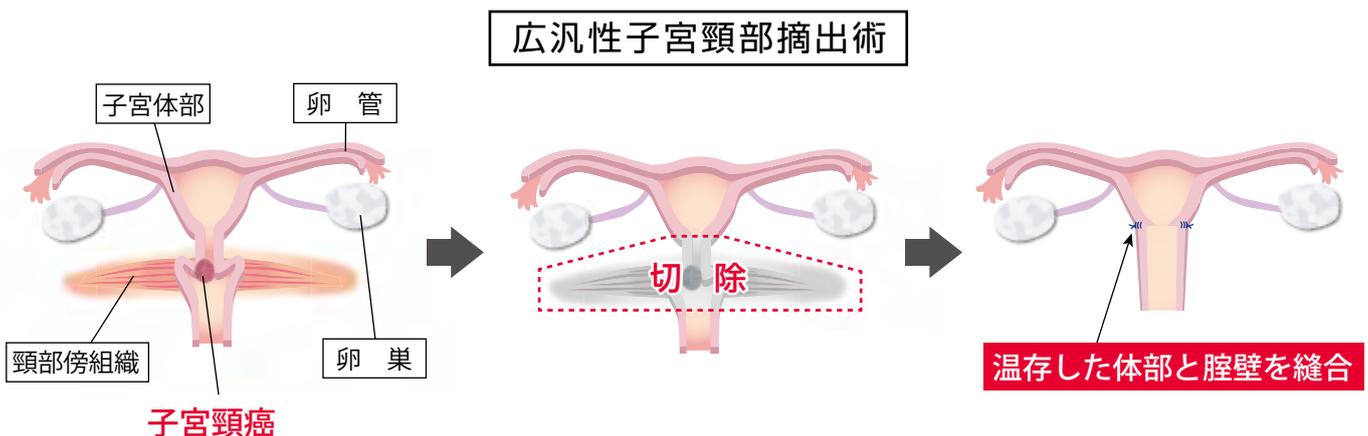
子宮は胎児が育つ部屋の役割を担う体部と、その部屋の扉の役割の頸部に分けることができます。子宮頸癌というのは、この頸部にできる癌のことを指します。子宮頸癌でもごく初期の方であれば頸部を一部切りぬく手術で子宮を残して(つまり妊娠・出産する能力を残して)治すことが可能です。しかし進行して浸潤癌になった方に対しては、広汎子宮全摘出術という手術で子宮を周りの組織と一緒に広い範囲で摘出せざるを得なくなります。近年、子宮頸癌を患う方々の年齢は若年化してきております。女性の晩婚化や出産年齢の高齢化とも相まって、お子さんを授かる前にこの病気で子宮を摘出せざるを得ない方が増えてきているのが大きな問題です。

広汎性子宮頸部摘出術というのは、体部を温存して頸癌が存在する子宮頸部のみを広汎性に摘出する、広汎子宮全摘出術の応用術式です(図参照)。1987年にフランスのDargentにより考案されたこの術式は、現在では世界中で広く受け入れられるようになりました。手術自体は決して難しいものではなく、本来の広汎子宮全摘出術に習熟した医師であれば誰でも施行可能な術式で、もちろん私たちも対応しております。

一番重要な点は、“いかにして子宮体部を安全に温存できるか”に尽きます。つまり、温存すべき体部付近まで癌が広がってない患者さんを、慎重に選択していくことが鍵となります。従って、この術式の恩恵をうけることができるのは、残念ながら子宮頸癌全体の患者さんのごく一握りに過ぎないのです。

また、仮にこの手術で頸癌を克服できたとしても、その先の妊娠・出産に関していくつかのリスクを負わねばなりません。それは、①広汎な手術操作に伴う術後癒着などによる不妊、②扉の役割を果たす頸部の働きを喪失することによる早産、などです。手術が成功しても、その先の目的を果たすためには、医療者だけでなく患者さんやご家族みなさんの協力が必要です。

広汎性頸部摘出術は、お子さんを授かりたいと望みながらも浸潤子宮頸癌を患った方々に対する限定的な選択肢に過ぎません。子宮頸癌は、その多くがワクチンで予防でき、なおかつ癌検診で早期発見が可能です。ぜひ子宮頸癌検診を受けて頂きたいとおもいます。



受付時間 初診受付8:30~11:00/各科窓口8:30~/診察9:00~
 問合せ先 受付 (8:30~17:00) TEL.095-819-7200
 時間外受付 (上記以外) TEL.095-819-7210
 休診日 土曜・日曜、祝・休日、年末年始(12月29日~1月3日)
 予約変更について 医科系診療科へのお問い合わせは、14:00~16:00(月~金)のみとなっておりますので、ご注意ください。

※地域医療機関からの初診患者さんの紹介をファックスでも受け付けています。
 詳しくは、本院ホームページ<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/medical/>、
 または地域医療連携センター(TEL.095-819-7930)までお問い合わせください。
 ※女性専門外来を開設しております。平日14時~17時に女性医師が診察いたします。
 専用電話(TEL.095-819-7785)にてご相談を受け、予約をうけたまわります。

脳卒中ホットライン (TEL.090-3078-5992) 24時間365日、迅速対応。

外来診療日一覧表

○:初再診 再:再診のみ 初:初診のみ 再予:再診予約のみ 紹:紹介状有初診のみ
 予:診療科へ直接電話予約 (矯正歯・小児歯:午後の初診についてはご連絡下さい)
 ※紹:紹介状無初診診療科へ要問合せ

階別	診療科・部門	月	火	水	木	金	お問い合わせ先	備考
7	耳鼻咽喉科	○再予	○再予	○	○	○	819-7463	
		再診の場合は要予約 ※火・木の初診は要問合せ						
6	冠補綴治療室	○	○	○	○	○	819-7744	
	義歯補綴治療室	○	○	○	○	○	819-7744	
	口腔・顎・顔面インプラントセンター	再予	再予	再予	再予	○	819-7744	
	臨床実習室	○	○	○	○	○	819-7753	
	臨床研修室	○	○	○	○	○	819-7753	
	審美歯科外来	○	○	○	○	○	819-7744	
	歯科材料アレルギー外来	予	予	予	予	予	819-7744	
	予防歯科室	○	○	○	○	○	819-7740	
	息フレッシュ外来		予			予	819-7740	
	歯科放射線室(歯科US)	○	○	○	○	○	819-7746	注1
	虫歯治療室	○	○	○	○	○	819-7743	
	歯周病治療室	○	○	○	○	○	819-7743	
	口腔顎顔面外科室	○	予	○	予		819-7745	注2
	顎口腔再生外科室	予	○	予	○		819-7745	注3
	口腔乾燥症外来		予	予		予	819-7771	注4
	オーラルペイン・リエンゾン外来	○	予	予	○	予	819-7784	
	口腔腫瘍外来		○				819-7745	注5
顎変形症外来	○					819-7745	注5	
顎関節症外来	○	○	○	○	○	819-7745		
予診室	初	初	初	初	初	819-7728		
5	神経内科	紹再		紹再		紹再	819-7465	
	脳卒中外来	○		○		○	819-7465	
	脳神経外科		○(※紹)		○(※紹)		819-7465	
	皮膚科・アレルギー科	○	○	再予	○	○	819-7465	
		再診の場合は要予約						
	眼科	紹再	再	紹再	再	紹再	819-7466	
	精神科神経科	予	予	予	予	予	819-7294	
化学療法室	予	予	予	予	予	819-7787		

階別	診療科・部門	月	火	水	木	金	お問い合わせ先	備考
4	小児科	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	819-7460	
	小児外科	○		○(1外)		○	819-7460	
	産科婦人科	○	○	○	○	○	819-7460	
	遺伝カウンセリング室	予	予	予	予		819-7548	
3	口腔ケア・摂食・嚥下リハビリテーションセンター		予	予	予	予	819-7748	注6
	矯正歯科室	○	○	○	○	○	819-7748	注7
	小児歯科室	○	○	○	○	○	819-7748	注8
	特殊歯科総合治療部	予	予	予	予	予	819-7748	注9
	麻酔・生体管理室	○	○	○	○	○	819-7748	
2	消化器内科	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	819-7464	
	消化器外科(1外)	○(※紹)		○(※紹)		○(※紹)	819-7464	
	消化器外科(2外)	初	○(※紹)		○(※紹)		819-7464	
	国際ヒバクシャ医療センター	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)		○(※紹)	819-7464	
	内分泌・代謝内科	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)		○(※紹)	819-7464	
	乳腺・内分泌外科(1外)	○(※紹)		○(※紹)		○(※紹)	819-7464	
	乳腺・内分泌外科(2外)		○(※紹)		○(※紹)		819-7464	
	血液内科	○(※紹)		○(※紹)		○(※紹)	819-7464	
	生活習慣病予防診療部	○(※紹)	○再(※紹)	○(※紹)	○再(※紹)	○再(※紹)	819-7464	
	リウマチ・膠原病内科	紹再		紹再		紹再	819-7464	
	放射線科	○(※紹)	紹(午後)	○(※紹)		○(※紹)	819-7464	
	感染症内科		○(※紹)		○(※紹)		819-7472	
	呼吸器内科	○(※紹)		○(※紹)		再予(※紹)	819-7472	
呼吸器外科	紹再		紹再		紹再	819-7472		
1	麻酔科	予	予	予	予	予	819-7468	
	泌尿器科	再	○		○	再	819-7468	
	腎臓内科	○(※紹)		○(※紹)			819-7468	
	循環器内科	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	819-7468	
	心臓血管外科	○(※紹)		○(※紹)		再予(※紹)	819-7468	
	整形外科	紹再予		紹再予		紹再予	819-7467	
	形成外科		○		○		819-7467	
1	総合診療科(内科)	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	○(※紹)	819-7544	

注1:CT、US、MR検査は要予約 注2:金は奇数日のみ 注3:金は偶数日のみ

注4:新患は水の午前、金の午後、新患も要予約 注5:午後のみ

注6:院内往診新患受付は火、金の午前。外来診療は火、水、金の午前中。新患の場合も要予約

注7:外来受付時間 8:30~18:00、新患は電話予約優先

注8:外来受付時間 8:30~17:00、新患受付 8:30~15:00で、出来れば来院時に連絡

注9:予約がない場合は、電話連絡が必要

注10:新患の場合は要確認

西病棟 (主な診療科)	病棟案内	東病棟 (主な診療科)
血液内科、総合診療科	13F	腎臓内科、泌尿器科
呼吸器内科、呼吸器外科	12F	リウマチ・膠原病内科、 内分泌・代謝内科、乳腺・内分泌外科
形成外科、歯科	11F	耳鼻咽喉科、麻酔科
循環器内科	10F	心臓血管外科、放射線科
眼科、脳神経外科、神経内科	9F	SCU、脳神経外科、神経内科
消化器内科、消化器外科	8F	消化器外科
消化器内科、婦人科、皮膚科・アレルギー科	7F	消化器内科、皮膚科・アレルギー科
産科、分娩部	6F	NICU・GCU、小児科、小児外科
精神科神経科	5F	整形外科
ICU	3F	

国際医療センター病棟

2F	救命救急センター
1F	感染症内科、呼吸器内科、国際ヒバクシャ医療センター

交通案内

JR長崎駅から
 バス 長崎バス8番(医学部経由下大橋行)→大病院前下車 徒歩1分
 市内電車 赤迫方面行(1,3番系統)→大病院前下車 徒歩8分
 タクシー 病院まで約10分

JR浦上駅から
 タクシー 病院まで約5分 徒歩 病院まで約10分

長崎大波止ターミナル(フェリー乗り場)
 市内電車 赤迫方面行(1番系統)→大病院前下車 徒歩8分
 タクシー 病院まで約12分

『すこやかさん』 川口町(北郵便局)→浜口町(いろは寿司駐車場前)⇒病院玄関を往復運行
 運行のご案内
 無料 所要時間約15分
 午前 8:00から12:00まで 15分間隔
 午後 12:00から14:00まで 20分間隔
 ●詳しい路線図や時刻表は病院ロビーに備え付けのチラシをご覧ください。

『元気くん』 運行のご案内


●大病院の玄関前までバスが行きます。
 ●電車との乗り換えが非常に便利になりました。
 ●大人150円(子供80円)均一料金です。
 ●土日祝日は運休しています。
 ●詳しい路線図や時刻表は、病院ロビーに備え付けのチラシ、または本院ホームページ掲載の交通アクセスをご覧ください。

読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より充実した広報誌を目指します。

ご意見・ご要望は、FAX:095-819-7215 又は E-mail: mhweb@ml.nagasaki-u.ac.jp までお寄せください。